

第1学年単元指導計画【全8時間】

単元名：Unit9 Think Globally and Act Locally

【研究テーマ】

「できた・わかった」を実感しながら、コミュニケーションに挑み続ける児童・生徒を育てる指導を求めて
 ~活動を通して習得し(思考しながら表現し)、仲間と共に高まる子どもの育成~
 (キーワード) Learn by doing

本単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 不定詞や「look+形容詞」の表現の特徴やきまりを理解している。(知識) 一之宮町の名所や名物についての自分の考えを、不定詞や「look+形容詞」の表現などを用いて伝える技能を身に付けている。(技能) 	<ul style="list-style-type: none"> ALTに、自分の知識や経験を踏まえながら、一之宮町の名所や名物などについて、どのように伝えればより正しく魅力的に理解されるかを思考しながら判断し、ALTからの助言を活用した発信ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ALTに、自分の知識や経験を踏まえながら、一之宮町の名所や名物などについて粘り強く伝えようとしている。 Sharing timeでの交流後、より良い情報伝達に向けた再調整を図ることができる。

【本単元で働かせる見方・考え方】

外国人観光客に一之宮町の魅力を伝えるために、表現内容・方法を考える。

【単元を貫く課題】

世界に誇れる一之宮町にするためには？

ー外国人観光客に来てもらうために、一之宮町の魅力を発信しよう！ー

【中心となる言語活動】 話すこと [発表] (イ)

時	① Orientation [RL]	② Story1 [SRW]
ねらい	一之宮町を訪れる外国人観光客が少ないという課題を知ることを通して、単元で学習する内容を理解し、学習の見通しをもつことができる。	メグのスピーチ文を読む活動を通して、写真を用いたスピーチの仕方を理解し、一之宮の名所や名物などについて2, 3文で話すことができる。
学習活動	<ol style="list-style-type: none"> Introduction <ul style="list-style-type: none"> JTE の話を通して、本時の課題をつかむ(高山市の観光業による収入額や観光客数のデータを見る)。[RL] Today's aim <p>How many people visit Ichinomiya?</p> Activity <ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客にインタビューした映像を視聴する。[L] 一之宮に観光客があまり来ないことで何が起こるのかを考え、観光客を一之宮に呼ぶことの重要性を認識する。 町づくり協議会の方の一之宮町に対する思いについて知る。 一之宮町の魅力は何かを考え、グループごとにプレゼンテーマを決める。 Good Job Time <p>高山は観光地として有名なのに、一之宮にほとんど観光客が来ていないことが分かった。一之宮を守っていくためにも、一之宮に来たいと思ってもらえるようなプレゼンを作りたい。</p> 	<ol style="list-style-type: none"> Preview <ul style="list-style-type: none"> p.88 の戸田先生とメグの対話から、分かったことを交流する。 Today's aim <p>What does Meg speak about?</p> Activity1 <ul style="list-style-type: none"> 本文内容の確認[R] 新出単語と新出文法の確認 音読練習[R] Thinking Time <ul style="list-style-type: none"> 一之宮の名所や名物は何か考える。 Activity2 <ul style="list-style-type: none"> 一之宮町の名所や名物について、写真を用いながら伝え合う。[S] <p>Look at this picture. This is Nakajin. We enjoy eating <i>soba</i> there.</p> <ol style="list-style-type: none"> Performance Time <ul style="list-style-type: none"> 話したことをもとに、自分の考えを書きまとめる。[W] Good Job time <p>一之宮の名所や名物は色々あるはずなので、外国人観光客にたくさん伝えられるようにしたい。</p>
評価規準	<p>【主体的に取り組む態度】</p> 単元終末に取り組む課題を理解し、一之宮町のどのような魅力を伝えるとよいかを考えようとしている。	<p>【思考・判断・表現】</p> 写真を用いながら、一之宮の名所や名物などについて話すことができる。

時	③ Story2 [SLRW]	④ Story3 [SRW]	⑤ Unit Activity [SW]	⑥ 単元末活動 [SL]
ねらい	<p>メグと海斗の対話文を読む活動を通して、相手が何をしたいかをたずねる表現を理解し、一之宮でしたいことについて伝えたりたずねたりし、紹介したい場所についての考えを広げることができる。</p>	<p>スピーチ文を読む活動を通して、「look＋形容詞」の使い方を理解し、一之宮の名所や名物について自分の考えや気持ちを交えながら紹介することができる。</p>	<p>外国人観光客が一之宮町を訪れてくれるためには何を伝えるとよいかを考え、名所や名物などについて紹介するためのプレゼン資料を作ることができる。</p>	<p>より多くの外国人に一之宮町に来てもらうために、町の魅力を伝えるプレゼンをグループで考え、名所や名物についてスピーチ面・内容面・文法面を意識して伝えることができる。</p>
学習活動	<p>1. Small Talk 『What can we do in Ichinomiya?』</p> <p>2. Today's aim What do Meg and Kaito want to do?</p> <p>3. Activity1 ・本文内容の確認[R] ・新出単語と新出文法の確認 ・音読練習[R]</p> <p>4. Thinking Time ・外国人観光客が一之宮でいたいと思えることは何かを考える。</p> <p>5. Activity2 ・ペアで伝え合う。[SL]</p> <p>A: What do you want to do in Ichinomiya? B: I want to ski at Mt. Montdeus. A: Yes. We can ski there.</p> <p>6. Performance Time ・自分の考えを書きまとめる。[W]</p> <p>7. Good Job time 外国人観光客がしたいと思えることがないと、一之宮に来てくれはくれないから、内容をよく考えてスピーチしたい。</p>	<p>1. Small Talk 『What do you want to do in ○○(国名)?』</p> <p>2. Today's aim How do the children in Kenya look?</p> <p>3. Activity1 ・本文内容の確認[R] ・新出単語と新出文法の確認 ・音読練習[R]</p> <p>4. Thinking Time ・一之宮の名所や名物について、自分がどう感じているかを考える。</p> <p>5. Activity2 ・名所や名物について、自分の考えや気持ちを交えながら伝え合う。[S]</p> <p>Look at this picture. This is Nakajin. We can eat <i>soba</i> there. It looks delicious. I want to eat it.</p> <p>6. Performance Time ・自分の考えを書きまとめる。[W]</p> <p>7. Good Job time 自分の考えや気持ちを伝えることで、紹介したい写真についてより詳しく伝えることができると分かった。</p>	<p>1. Small Talk 『What do you want to do in ○○(季節)?』</p> <p>2. Today's aim ・Oral Interaction を通して、本時の課題をつかむ。 Let's make your own presentation.</p> <p>3. Activity1 ・グループごとに、外国人観光客が一之宮町を訪れるためには何を伝えるとよいかを考え、原稿を作成する。</p> <p>4. Thinking Time ・Activity1 を通して気づいたことや困り感などについて交流する。</p> <p>5. Activity2 ・Activity1 で作成した原稿を基に、プレゼン資料を作成し、発表内容をまとめる。</p> <p>6. Good Job time 海外では桜を見ることが中々できないだろうから、臥龍桜の魅力をたくさん紹介して一之宮に来たいと思ってもらえるようにしたい。</p>	<p>1. Greeting</p> <p>2. Today's aim Try to tell ALTs good points of Ichinomiya to be the No.1 presenter.</p> <p>3. Thinking Time ・プレゼン資料を確認しながら、発表内容を整理する。</p> <p>4. Activity1 ・一之宮町のよさについて ALT にプレゼンをする。[SL]</p> <p>5. Sharing Time ・ALT からの質問やコメントを各グループに持ち帰り、スピーチ方法や内容について再考する。 ・スピーチ方法や内容を高めた生徒の発表を聞き、自らの発表に取り入れる。</p> <p>6. Activity2 ・再度 ALT にプレゼンをする。[SL]</p> <p>7. Good Job Time ・ALT が選んだ No.1 プレゼンターの発表を聞き、良さを共有する。</p> <p>ALT の先生から「今度臥龍桜を見に行ってみよう」と言ってもらえたので、一之宮の魅力が伝わってよかったと思う。</p>
評価規準	<p>【知識・技能】 相手のしたいことをたずねる表現を理解し、一之宮でしたいことについて伝えたりたずねたりすることができる。</p>	<p>【知識・技能】 「look＋形容詞」の使い方を理解し、一之宮の名所や名物について自分の考えや気持ちを交えながら話すことができる。</p>	<p>【主体的に取り組む態度】 外国人観光客が一之宮町を訪れてくれるためには何を伝えるとよいかを考え、名所や名物などについて紹介するためのプレゼン資料を作ろうとしている。</p>	<p>【思考・判断・表現】 より多くの外国人に一之宮町に来てもらうために、町の魅力を伝えるプレゼンをグループで考え、名所や名物についてスピーチ面・内容面・文法面を意識して伝えることができる。</p>

時	⑦ Performance test [SL]	⑧ Mini Activity [SLW]
ねらい	一之宮町の魅力について、既習表現を活用しながら伝えることができる。	自分の行きたい国やそこでしたいことを伝え合う活動を通して、自分の興味関心がある場所について伝えたりたずねたりすることができる。
学習活動	<p>1. Small Talk What are good points of Ichinomiya?</p> <p>2. Today's aim <u>Let's do the performance test.</u></p> <p>3. Performance test ・評価の観点 表現 A これまで学習した幅広い表現を活用して話している B Unit9 を通して学習した表現のみを活用して話している 内容 A 一之宮町の魅力について、自分の知っていることや体験したことを交えながら話している B 一之宮町の魅力について話している 正確さ A ミスが0～1回程度でほぼ正確に伝わる B 主語や動詞の抜け落ちのミスが3回程度でおおむね伝わる</p>	<p>1. Small Talk 『What do you want to do in Ichinomiya?』</p> <p>2. Today's aim <u>Where do you want to go?</u></p> <p>3. Activity1 ・クック先生と海斗の対話内容を聞き取る。[L]</p> <p>4. Thinking Time ・自分の行きたい国を1つ選び、そこで何をしたいのかを考える。</p> <p>5. Activity2 ・行きたい国についてペアで伝え合う。 [S]</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">A: Where do you want to go? B: I want to go to Italy. A: What do you want to do there? B: I want to eat delicious pizza.</p> <p>6. Performance Time ・自分の考えを書きまとめる。[W]</p> <p>7. Good Job time <u>相手にどこに行きたいか、そして何をしたいのか伝えたりたずねたりする表現もスピーチに活用できるとよいと思う。</u></p>
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・評価を十分に満たしている→A ・評価をある程度満たしている→B ・評価を満たしていない→C 	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>自分の行きたい国やそこでしたいことを伝え合う活動を通して、自分の興味関心がある場所について伝えたりたずねたりすることができる。</p>